

## 地域密着型金融の取組み状況（平成19年4月～平成20年3月）

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の応援強化

#### ①創業・新事業・産学連携等の応援

「<池銀>“地域起こし”制度」の推進、産学官の外部機関とのネットワーク拡充などにより、創業・新事業を展開する企業を積極的に応援してまいりました。

#### ●2つの助成金制度の推進

優秀なビジネスプランを対象とする「<池銀>ニュービジネス助成金」及び産学連携による共同開発や共同研究を対象とする「<池銀>コンソーシアム研究開発助成金」の2つの助成金制度に積極的に取り組んでまいりました。  
実績は以下の通りです。

##### ◆<池銀>ニュービジネス助成金

	応募総数	表彰数	助成金総額
平成19年度	116プラン	12プラン	1,000万円

※現在、平成20年度の公募を実施しております。

##### ◆<池銀>コンソーシアム研究開発助成金

	応募総数	表彰数	助成金総額
平成19年度	50プラン	13プラン	3,000万円

※平成20年度の募集につきましては、秋頃に応募要領などを公表させていただきます。

#### ●投融資制度の推進

助成金応募先を中心とした創業・新事業を展開する企業に対する投融資活動にも取り組んでまいりました。

その結果、<池銀>“ニュービジネス”ローンを1件150万円、“産業クラスター計画”補助金つなぎ融資を1件750万円の無担保融資を実行するとともに、当行関連会社池銀キャピタル㈱による27件3680万円の投資を実行いたしました。

#### ●外部機関とのネットワークの拡充

平成19年8月、地域における中小企業への支援、ベンチャーの育成等において、独立行政法人中小企業基盤整備機構と業務提携を締結いたしました。

### ●産学連携の推進

平成19年9月、日本ベンチャーキャピタル株式会社が運用する「京都大学ベンチャーNVCC1号ファンド」に100百万円の投資を実行いたしました。

### ②取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

取引先企業が持つさまざまな経営上の課題を解決するため、企業の成長・発展に役立つための手段として、ビジネスマッチング活動や事業承継のサポート活動等に取り組んでまいりました。

### ●ビジネスマッチング活動の推進

平成19年4月、取引先企業を中心に商談・交流の場の提供を目的とする第4回「<池銀>ビジネス交流会」を開催（参加企業227社、大学9校、公的機関10機関、交流件数793件数）いたしました。

平成19年12月、第8回「<池田銀行>TOYROビジネスマッチングフェア」を開催（出展企業95社、大学14校、公的機関7機関、来場者数7,600人）し、多くの取引先企業のビジネスマッチングに寄与いたしました。

### ●事業承継のサポート

中小企業の経営上の課題は後継者対策に留まらず、自社株対策、M&A、株式公開等に加え、経営者個人の相続、遺言、不動産有効活用等、多岐にわたるため、法個人両面からの中長期的且つ多面的なサポートに取り組んでまいりました。事業承継に関する相談については、約60件寄せられました。その内1社についてM&Aアドバイザーに就任のうえ、会社売却を成約いたしました。また、2社と売り手アドバイザー契約を締結いたしました。

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### ①事業価値を重視した融資への取り組み

定性情報を含めた地域における情報を生かし、企業が有する技術力やビジネスモデルなど事業価値を見極め、個々の事情に応じた的確な資金供給を行い、地域の金融円滑化に取り組んでまいりました。

### ●担保・保証に過度に依存しない融資への取り組み

地域起こし融資制度など独自の融資制度の推進、知的財産や動産を担保とする融資、また大阪産業振興機構と連携した融資制度など、担保・保証に過度に依存しない様々な融資手法に取り組んでまいりました。

実績は以下の通りです。

	実行件数	実行金額
ご新規・特別融資ファンド	62件	3,027百万円
ニュービジネスローン	1件	15百万円
産業クラスターつなぎ融資	1件	75百万円
機械担保ローン	3件	106百万円
売掛債権担保融資	119件	2,376百万円
大阪府成長性評価融資	3件	79百万円

## ②人材の育成

企業の技術力を的確に評価できる能力（目利き能力）、適切な融資手法を見極める能力および経営支援能力等の向上に向け、行内研修や全国地方銀行協会、日本銀行が主催する研修への派遣を行うことで人材の育成に努めてまいりました。

## 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

### ①地域活性化推進のための各種施策との連携等

地方公共団体をはじめとする地域関係者との“公民連携”や地域住民との連携により、地域社会の活性化に積極的に取り組んでまいりました。

#### ●地域活性化につながる多様なサービスの提供

地元自治体や商工団体が取り組む地域活性化、“まちづくり”計画などの施策を積極的に応援してまいりました。また、地域の緑化事業などへ参画し、自然環境保護へ取り組んでまいりました。

#### ○地域活性化に向けた取組み

##### 〈KGビジネスプランコンテスト〉

関西学院大学と産学連携協定を締結しており、その一環として関西学院大学と共催で、学内の起業文化の創出を図るため、「KGビジネスプランコンテスト」を実施いたしました。

##### 〈カレンダーアートコンペティション2007〉

地元関西の文化の発展を願い、なかでも芸術を志す大学生の活動を応援するため、「カレンダーアートコンペティション2007」を実施いたしました。近畿2府4県35大学の学生の方々より、338点の応募をいただき、「最優秀作」1点、「佳作」4点を決定し、これからの活躍を期待して、総額110万円を、贈呈いたしました。最優秀作に選ばれた作品は、当行の2008年カレンダーとして、京阪神地域の当行のお客様を中心にお配りいたしました。

〈〈池田〉エンゼルつみたて定期預金〉

少子化対策等幅広い“地域起こし”として、地元池田市の地域活性化や次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、第2子を出産された池田市民の方に〈池田〉エンゼルつみたて定期預金の取扱いを開始いたしました。

〈池田市・地域起こし融資制度〉

池田市の商業活性化を目的に、池田市との提携により「無担保・無保証人」「利子補給」で新規出店者を応援する池田市・地域起こし融資制度を1件30百万円実行いたしました。

〈PFI事業への参画〉

当行初となるPFI事業向けプロジェクトファイナンスのアレンジメントを1件取組みました。また、プロジェクトファイナンスについて1件20億円を実行いたしました。

## ○自然環境保護に向けた取組み

〈環境融資等に関する業務協力協定〉

平成19年8月、株式会社三菱東京UFJ銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結いたしました。

〈地域社会貢献融資に関する業務協力覚書〉

平成19年9月、株式会社みずほコーポレート銀行と「地域社会貢献融資に関する業務協力覚書」を締結いたしました。

〈チャリティフェスタ〉

平成19年10月、「チャリティフェスタ“白鳥英美子withトワエモワコンサート”」を開催しました。第4回目となる今回は、伊丹市で開催し、伊丹市の「自然環境保護や緑化事業」にお役立ていただけるよう、100万円を伊丹市長に贈呈いたしました。

当行は、今後とも「地域社会との共生」を第一義に、“経営の健全性確保”を図りつつ、お客さまの信頼と期待にお応えしてまいります。

また、より一層存在感のある地元銀行として“地域起こし”を念頭におきながら、地域のお客さまのお役に立ち、“地域社会の活性化”へ貢献できるよう、役職員一同総力をあげて取り組んでまいります。

以上

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

項目	動機（経緯）	取組み内容	取組み状況（成果）
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
<p>(1) 創業・新事業・産学連携の応援</p>	<p>“地域起こし”制度の推進や外部機関とのネットワーク拡充による創業・新事業支援機能等の強化を図り、地域の活性化に貢献することを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当行独自の助成事業（「&lt;池銀&gt;ニュービジネス助成金」「&lt;池銀&gt;コンソーシアム研究開発助成金」）に継続して取組みます。</li> <li>・無担保融資ならびに池銀キャピタル株式会社による投資を、助成金応募先を中心とした創業・新事業を展開する企業に対して推進します。</li> <li>・上記の活動を通じて、様々な外部の機関とのネットワークをさらに拡充します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2つの助成金制度「&lt;池銀&gt;“地域起こし”」の推進</li> <li>&lt;池銀&gt;ニュービジネス助成金 19年度は、116件の応募を受け、表彰12プランに対して10百万円の助成金を交付しました。</li> <li>&lt;池銀&gt;コンソーシアム研究開発助成金 19年度は、応募総数50件に対して13プランの採択先に対して、30百万円の助成金を交付しました。</li> <li>●投融资制度の推進</li> <li>&lt;ニュービジネス融資&gt; ニュービジネスローンは、1件15百万円を実行しました。 産業クラスターつなぎ融資は、1件75百万円を実行しました。</li> <li>&lt;池銀キャピタルによる投資の推進&gt; 創業・新規事業を展開する企業に対して、27件368百万の投資を実行しました。</li> <li>●外部機関とのネットワークの拡充 19年8月、地域における中小企業への支援、ベンチャーの育成等において、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部と業務提携を締結しました。</li> <li>●産学連携の推進 19年9月、日本ベンチャーキャピタル株式会社が運用する「京都大学ベンチャー-NVCC1号ファンド」に100百万円の投資を実行致しました。今回のファンドへの参加を通じて、差別化されたシーズと科学的な経営能力のある京都大学とのネットワークを拡充し、積極的に産学連携を進めていきます。</li> </ul>

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

項目	動機（経緯）	取組み内容	取組み状況（成果）
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化			
①経営支援	<p>地域の中小企業が持つさまざまな経営上の課題を解決するためのサポート活動を通じて、企業の成長・発展に役立つための手段として、ビジネスマッチング活動を継続的に実施します。</p>	<p>&lt;ビジネスマッチングの推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区本部長、支店長、ネットワーク推進部を中心に運営するマッチング委員会を中心としたビジネスマッチング活動を推進します。</li> <li>・取引先企業に商談、交流の機会を提供する「TOYROビジネスマッチングフェア」「&lt;池銀&gt;ビジネス交流会」を継続して開催します。</li> </ul>	<p>&lt;ビジネスマッチングの推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区本部長、支店長、ネットワーク推進部を中心に運営するマッチング委員会を中心に、ビジネスマッチング活動を取組みました（マッチング成約件数55先）。</li> <li>・19年4月、取引先企業を中心に商談・交流の場を提供する第4回「&lt;池銀&gt;ビジネス交流会」を開催しました（参加企業227社、大学9校、公的機関10機関、交流件数793件数）。</li> <li>・19年12月、取引先企業に商談の機会を提供する場として第8回目となるマッチングフェアを開催しました（出展企業95社、大学等14校、公的機関7機関、来場者数7,600人）。</li> </ul>
②事業承継	<p>中小企業では経営者の高齢化が進行する一方、少子化や職業の多様化の進展もあり、後継者の確保が年々困難になっていることから、事業承継対策を積極的にサポートします。 （事業承継対策をサポートする専門部署「プライベートバンキング部」を設置済）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業オーナーの悩みは法人の後継者対策に留まらず、自社株対策、M&amp;A、株式公開等に加え、オーナー個人の相続、遺言、不動産有効活用等、多岐にわたるため、法個人両面からの中長期的且つ多面的な提案営業を取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継に関する相談が、19年度は約60件寄せられています。その内、過半数が自社株の円滑な後継者への移転ニーズであり、種類株式や安定株主対策等の提案を行っています。</li> <li>・また、後継者難等の事情から、約25%がM&amp;Aによる会社売却を検討しており、その内1社についてM&amp;Aアドバイザーに就任のうえ、会社売却を成約しました。また、現在2社と売り手アドバイザー契約を締結しています。</li> </ul>

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

項目	動機（経緯）	取組み内容	取組み状況（成果）																					
2.事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底																								
(1) 事業価値を重視した融資への取組み																								
①担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み	<p>定性情報を含めた地域における情報を生かし、企業が有する技術力やビジネスモデルなど事業価値を見極め、個々の事情に応じた的確な資金供給を行い、地域の金融円滑化に取組みます。</p>	<p>・地域起こし融資制度など独自の融資制度の推進、知的財産や動産を担保とする融資、また大阪産業振興機構と連携した融資制度など、担保・保証に過度に依存しない様々な融資手法への取組みを通じて、企業が有する技術力やビジネスモデルなど事業価値を見極め、個々の事情に応じた的確な資金供給に取組みます。</p>	<p>・担保や保証に過度に依存せず、技術力、経営者能力、販売力、将来性等を評価した融資に取組みました。</p> <p>◆取扱実績</p> <table border="1" data-bbox="1294 469 1973 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>実行件数</th> <th>実行金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご新規・特別融資ファンド</td> <td>62件</td> <td>3,027百万円</td> </tr> <tr> <td>ニュービジネスローン</td> <td>1件</td> <td>15百万円</td> </tr> <tr> <td>産業クラスターつなぎ融資</td> <td>1件</td> <td>75百万円</td> </tr> <tr> <td>機械担保ローン</td> <td>3件</td> <td>106百万円</td> </tr> <tr> <td>売掛債権担保融資</td> <td>119件</td> <td>2,376百万円</td> </tr> <tr> <td>大阪府成長性評価融資</td> <td>3件</td> <td>79百万円</td> </tr> </tbody> </table>		実行件数	実行金額	ご新規・特別融資ファンド	62件	3,027百万円	ニュービジネスローン	1件	15百万円	産業クラスターつなぎ融資	1件	75百万円	機械担保ローン	3件	106百万円	売掛債権担保融資	119件	2,376百万円	大阪府成長性評価融資	3件	79百万円
	実行件数	実行金額																						
ご新規・特別融資ファンド	62件	3,027百万円																						
ニュービジネスローン	1件	15百万円																						
産業クラスターつなぎ融資	1件	75百万円																						
機械担保ローン	3件	106百万円																						
売掛債権担保融資	119件	2,376百万円																						
大阪府成長性評価融資	3件	79百万円																						
②人材の育成	<p>内外の研修等を通じ、企業の価値や適切な融資手法を見極める能力の向上等を図ることで、現状だけでなく将来を含めた企業の様々な成長段階に応じた支援等を行い、地域密着型金融への一層の取組みができる地域金融機関を目指します。</p>	<p>・外部研修 中小企業金融や事業再生など外部機関が実施する研修に若手から中堅の行員を派遣します。</p> <p>・行内研修 融資スキル、審査能力、経営アドバイザーなどに関する研修を実施します。</p> <p>・トレーニー 案件審査能力向上のため、融資部審査トレーニーを実施します。</p> <p>・行員の登用 行内公募を実施し、融資部門にやる気のある行員を登用します。</p>	<p>・外部研修 地方銀行協会や日本銀行が主催する債権管理やリスク管理に関する研修等に派遣しました。</p> <p>・行内研修 審査能力強化、融資スキルアップ、財務基礎などの研修を約150名に実施しました。</p> <p>・トレーニー 延べ約2週間の融資部への審査トレーニーを実施しました。</p> <p>・行員の登用 融資部門への公募を実施しました。</p>																					

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

項目	動機（経緯）	取組み内容	取組み状況（成果）
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
<p>(1) 地域活性化推進のための各種施策との連携等</p>	<p>地方公共団体をはじめとする地域関係者との“公民連携”や地域住民との連携により、地域社会の活性化に積極的に貢献します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体や商工団体が取組む地域活性化、“まちづくり”計画などの施策を積極的に応援します。</li> <li>・地域の緑化事業などへ参画し、自然環境保護へ貢献します。</li> </ul>	<p>●地域活性化に向けた取組み</p> <p>&lt;KGビジネスプランコンテスト&gt;            関西学院大学と産学連携協定を締結しており、その一環として関西学院大学と共催で、学内の起業文化の創出を図るため、「KGビジネスプランコンテスト」を実施しました。</p> <p>&lt;カレンダーアートコンペティション 2007&gt;            地元関西の文化の発展を願い、なかでも芸術を志す大学生の活動を応援するため、「カレンダーアートコンペティション 2007」を実施しました。近畿2府4県35大学の学生の方々より、338点の応募をいただき、「最優秀作」1点、「佳作」4点を決定し、これからの活躍を期待して、総額110万円を、贈呈しました。最優秀作に選ばれた作品は、当行2008年カレンダーとして、京阪神地域の弊行のお客様を中心に配りました。</p> <p>&lt;〈池田〉エンゼルつみたて定期預金&gt;            少子化対策等幅広い“地域起こし”として、地元池田市の地域活性化や次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、第2子を出産された池田市民の方にく池田&gt;エンゼルつみたて定期預金の取扱を開始しました。</p> <p>&lt;池田市・地域起こし融資制度&gt;            池田市の商業活性化を目的に、池田市との提携により「無担保・無保証人」「利子補給」で新規出店者を応援する池田市・地域起こし融資制度を18年度より実施しております。            19年度は1件30百万円を実行しました。</p> <p>&lt;PFI事業への参画&gt;            当行初となるPFI事業向けプロジェクトファイナンスのアレンジメントを1件取組みました。また、プロジェクトファイナンスについて1件20億円を実行しました。</p>

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

項目	動機（経緯）	取組み内容	取組み状況（成果）
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			<p>●自然環境保護に向けた取組み</p> <p>&lt;環境融資等に関する業務協力協定&gt;            19年8月、株式会社三菱東京UFJ銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結しました。情報交換・人材交流を通じた環境融資に関するノウハウの共有とともに、環境関連プロジェクトファイナンス等の共同組成により、大型案件への取組みを目指し、金融分野から地域の環境保全に貢献していきます。</p> <p>&lt;地域社会貢献融資に関する業務協力覚書&gt;            19年9月、株式会社みずほコーポレート銀行と「地域社会貢献融資に関する業務協力覚書」を締結しました。セミナー・人材交流を通じたプロジェクトファイナンスを中心とするノウハウや情報の共有、資金調達手法が高度化するPFⅠ事業・環境関連融資等への共同取組みを行います。</p> <p>&lt;チャリティフェスタ&gt;            19年10月、「チャリティフェスタ“白鳥英美子 with トワエモワコンサート”」を開催しました。第4回目となる今回は、伊丹市で開催し、伊丹市の「自然環境保護や緑化事業」にお役立ていただけるよう、100万円を伊丹市長に贈呈しました。</p>

経営改善支援等の取組み実績

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先 α				経営改善支援取 組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画策定率 = δ/α
			αのうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数 β	αのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ			
正常先 ①	8990	6		0	1	0.07%		16.67%
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	966	14	1	12	1.45%	7.14%	14.29%
	うち要管理先 ③	95	11	2	4	11.58%	18.18%	18.18%
破綻懸念先 ④	64	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
実質破綻先 ⑤	143	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
破綻先 ⑥	71	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
小 計(②～⑥の計)	1339	25	3	16	4	1.87%	12.00%	16.00%
合 計	10329	31	3	16	5	0.30%	12.00%	16.13%

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月初時点で整理。  
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。  
 ※経営改善支援取組み先の定義については、これまでと同様ですが、詳細については別紙「経営改善支援取組み先の定義について」を参照。  
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。  
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。  
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。  
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。  
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。  
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。  
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。  
 ・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」